

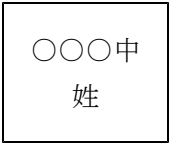
平成29年度島尻地区バドミントン春季シード権大会 大会運営規定（案）

I. 全体の運営に関すること

- (1) 事故防止及び試合進行をスムーズに進行するために、フロアー及び通路、玄関ロビー空きコート、コート間、コートサイドなどでの練習は原則として認めません。
- (2) 男子会場の進行について
1日目は団体戦、2日目は個人戦を行います。
- (3) 女子会場の進行について
1日目は、団体戦に入ります。（初日は2会場に分かれます）
2日目は、団体戦代表の部の決勝、順位決定戦を行います。
- (4) 試合前の公式練習について
①団体戦は**初戦のみ**各チーム3分間行えます。
②個人戦では設けません。すぐに試合を始めて下さい。
- (5) 朝の割当練習について
別紙にてお知らせします。割り当てられた時間、コートで練習が行えます。
- (6) 本部への質問・要望は監督及び中体連登録コーチが行えますが、抗議は出来ません。

II. 試合に関すること

- (1) ベンチ入りは、選手・監督・マネージャー又はコーチとする。コーチは教員又は県中体連の登録者で申込用紙に記載されたものとする。
※生徒がベンチに2人入ることは原則として認めない。
- (2) 得点は以下のようにする
①団体戦は21点2ゲーム先取とする。
②個人戦は15点2ゲーム先取とする。
- (3) インターバルは、以下の通りとする。
①21点ゲームでは、
・ゲーム中にどちらかのサイドのスコアが11点になった時→60秒以内。
・ゲームとゲームの間→120秒以内
②15点ゲームでは、ゲームとゲームの間→120秒以内
- (4) 試合のコール後3分以内に試合ができる準備をしてコートに入らない場合は、棄権とする場合もある。
- (5) 試合中の汗拭き・水分補給は、インターバル時以外原則として認めない。
水分補給は、スクイズボトルを使用してください。
- (6) 監督・コーチによるアドバイスはインプレイでないとき認める。
- (7) インプレイ中の応援はベンチ・応援団とも認めない。
- (8) 競技服装は、日本バドミントン協会審査合格品（但し、ハーフパンツ着用の場合、膝にかからないもの）とする。
※今年度からの新入部員は学校指定の体育着での参加を認める
- (9) スパッツは、ズボンやスカートからはみ出さないこと。
- (10) ソックスは必ず着用し、白を基調としたものでくるぶしが隠れるものを履くこと。

- (11) ゼッケンは布地とし、上着の背面中央部に右図のような規格で学校名
姓を黒または濃紺色の楷書で明記すること。同姓の選手がいる場合は
名前の頭文字を記すこと。ゼッケンの無い者は没収試合とすることも
ある。紙のゼッケンは認めない。ゼッケンは4点止めとする。
- 15
20
cm
- 
- (12) はちまき、ヘアーバンド、リストバンド、サポーター、テーピング
は認めるが、ブレスレット・ネックレス等の装飾品(スポーツ用品等
も含む)及び、マスコット等を身につけてのプレーは認めない。
- (13) 競技にふさわしくない身なり(まゆ等)・服装及び、行為をしたものは、協議の上
没収試合とすることもある。
- (14) 試合前のコートでの練習は原則として認めない。
※対戦相手が決まらず、待ち時間が長い場合は運営責任者の判断で練習を行える。
- (15) 試合のある選手以外でフロアーに入れるのは原則として、監督(引率者)、コーチまたは
マネージャーとする。ただし、応援はベンチに座ること。ベンチに座れない場合は監督・
コーチ控え場所で待機する。

(16) 試合中のけがまたは病気に対する対応について

試合中のけがや病気についての応急処置は認めます。また、監督・選手は5分以内にプレーが継続可能かどうかの判断をお願いします。5分過ぎてもプレー続行が難しいと判断した場合は、棄権とします。

1. 団体戦

- (1) 試合は予選リーグおよび決勝トーナメント、シード決定戦を行う。
- (2) リーグ戦は試合が決しても、最後まで試合を行う。
- (3) トーナメントで平行試合が行われている場合、試合が決した時点では一方が途中であっても試合を終了する。
- (4) 団体戦の審判(主審・線審)は本部より指示に従って下さい。
- (5) 得点係は各対戦チームで行う。
- (6) オーダーは対戦相手が決まってから15分程度で提出する。
- (7) 団体戦において試合が連続する場合は、原則として10分時間をあける。
- (9) リーグ戦における順位決め方は以下の優先順位で行う
- ①勝ち数の多いチーム
 - ②直接対決で勝っているチーム
 - ③取得マッチ数-喪失マッチ数でポイントの高いチーム
 - ④ゲームの勝ち数-負け数でポイントの高いチーム
 - ⑤総得点-総失点で総得点の高いチーム
 - ⑥キャプテンで抽選
- (10) 試合中にオーダーミス(オーダーと違う選手がでているなど)があった場合は以下のように対処します。
- ①オーダーと違った選手が出場している場合は、その種目を失格にします。

②登録選手以外が出場している場合は、没収試合としてそのチームの負けにします。

2. 個人戦に関すること

- (1) 試合はトーナメントで行う。
- (2) 個人戦の審判は敗者審判とする。初戦のみシード選手で審判を行う。
- (3) 個人戦の敗者審判は主審のみとし、線審と得点係は対戦校同士で行う。
※順位決定戦の審判は対戦校同士で行う。
- (4) 個人戦において試合が連続する場合は、原則として15分時間をあける。

III. その他（注意事項）

- (1) 体育館シューズで外に出ないこと。
- (2) 昼食時間は設けないので、各自試合の進行をみながら取ること。
- (3) ゴミは必ず持ち帰ること。ゴミ袋も各学校で準備して下さい。
- (4) 応援席での飲み物、食べ物の片付けを徹底すること。
- (5) 貴重品やラケットなどのバドミントン用品の管理は各学校及び、各自で徹底する
- (6) 体育館以外の施設（校舎等）には、絶対に入らないこと。
- (7) 応援はギャラリーで行うこと。

IV. 選手の変更について

申込後、選手の変更がある場合は以下の通りで選手変更を行う。

- (1) 団体戦の代表の部は登録選手を変更できる。但し、初日の監督会までに変更届を提出すること。
- (2) 個人戦シングルスにおいて、登録選手が病気・怪我等で試合が行えない場合は棄権とする
- (3) 個人戦ダブルスにおいて、ペアの一人が病気・怪我等で試合が行えない場合は、監督会で確認してオブザーバー参加できる。
- (4) 上記のいずれにしても、初日の監督会で申し出るものとする。それ以外では変更は認めない。

V. 夏季大会のシードについて

- (1) 今大会の結果から団体はベスト10・個人はベスト8をシードする。

※個人戦の8シード選手は、夏季大会での種目変更を認めない。

- (2) 個人戦でベスト16の選手は夏季大会で枠外登録として認める。